株主通信

第213期 2020年4月1日~2021年3月31日

[証券コード:3106]

CONTENTS

株主の皆様へ …… 1
当社グループの事業概況 …… 3
トピックス …… 5
サステナビリティ …… 7
財務情報 …… 8
株式情報・会社情報 …… 9
株主メモ …… 巻末

KURABO

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

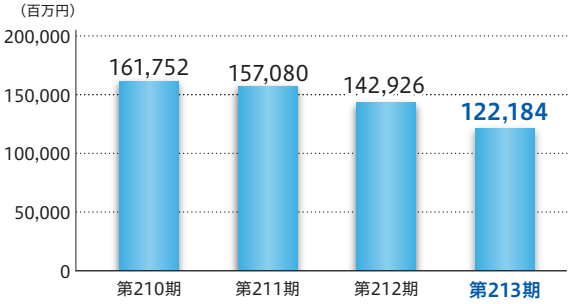
さて、当社グループの第213期連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の概況につきまして、ご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により2020年4月に緊急事態宣言が発出され、様々な自粛や制限に伴い社会経済活動が停滞しました。5月に緊急事態宣言が解除され、一旦は社会経済活動レベルの引き上げの動きがありましたが、秋以降の世界的な再拡大があり、国内でも2021年1月には11都府県に再度緊急事態宣言が発出されるなど、年度全般にわたり新型コロナウイルスの影響を受け、景気はきびしい状況で推移しました。

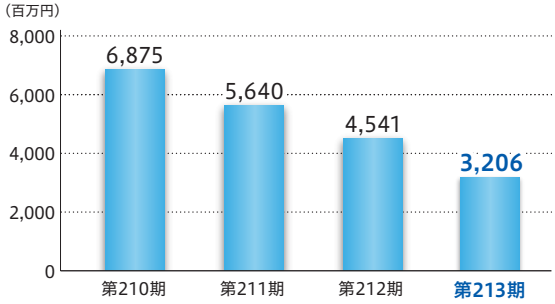
このような環境下にあって当社グループは、従業員やステークホルダーの皆様の安全・健康を最優先として新型コロナウイルスの感染拡大の防止と事業活動・生産活動への影響の最小化に努めるとともに、中期経営計画「Creation'21」の目標達成に向け尽力しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影

連結業績ハイライト

売上高



営業利益



響は大きく、売上高は1,221億円（前年同期比14.5%減）、営業利益は32億円（同29.4%減）、経常利益は42億4千万円（同22.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億円（同40.8%減）となりました。

今後のわが国の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は開始されましたが、変異株による感染増加など、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立っておらず、景気の先行きは非常に不透明であります。当社グループでは、引き続き景気の悪化による受注減、衣料品、自動車業界等における生産活動への影響、様々な自粛や制限に伴う国内外での販売、納品活動の停滞等の発生が想定されます。

このような状況に対応するため、新型コロナウイルスに関する対策指針を定め、当社グループの従業員やステークホルダーの皆様の安全・健康を最優先として、引き続きグループをあげて感染拡大の防止に取り組み、事業活動・生産活動への影響を最小限に抑えるとともに、ウィズコロナ・アフターコロナの時代に最適な新しいビジネスモデルの構築を進めながら、業容の拡大に努めてまいります。

また、中期経営計画「Creation'21」の基本方針に沿い、高付加価値・高収益ビジネスの拡大や、R&D活動の推進、新規事業創出などに引き続き注力し、「長期ビジョン2030」で目指すべき姿と定めた「イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループ」の実現に努めてまいります。

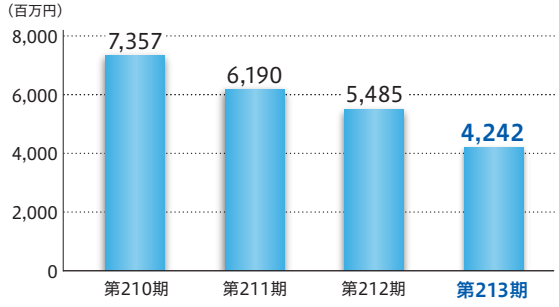
さらに、引き続きコーポレートガバナンス体制の充実、企業倫理や法令遵守の徹底を図るとともに、気候変動などの環境問題への対応やサステナブル社会の実現に向けた取組みなどを推進し、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

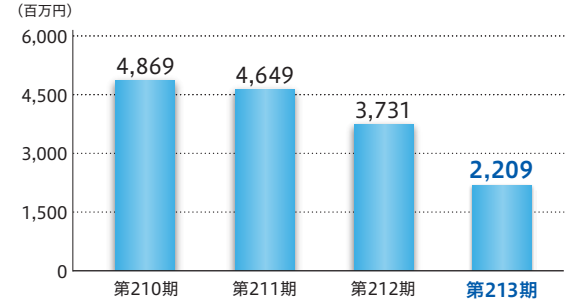
2021年6月

取締役社長 藤田晴哉

経常利益

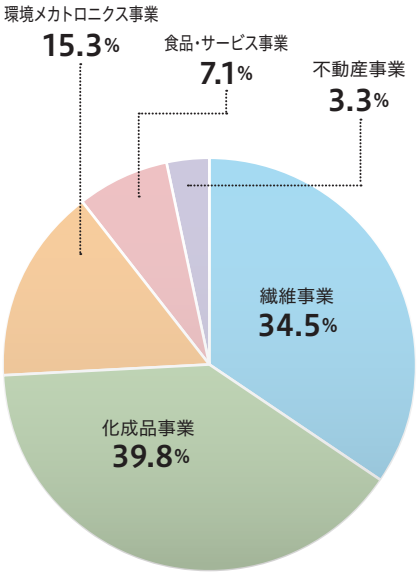


親会社株主に帰属する当期純利益

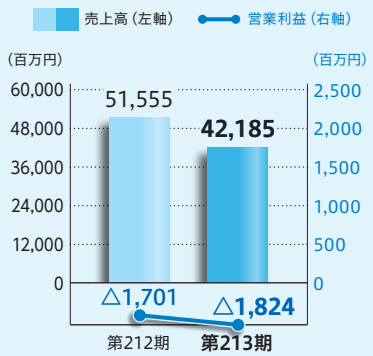


当社グループの事業概況

事業セグメント別売上高構成比率



総額 1,221億円



繊維事業

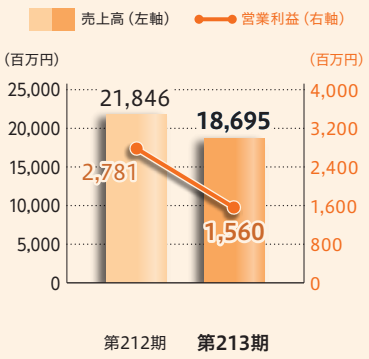
原糸分野およびカジュアル分野は、4月の緊急事態宣言の発出による取引先の店舗休業や、その後も引き続く個人消費の低迷の影響が大きく、受注が減少し、減収となりました。
ユニフォーム分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた建設業および製造業向けユニフォームの販売不振により、受注が減少し、減収となりました。なお、抗菌・抗ウイルス機能素材の販売は好調でした。
海外子会社は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ブラジルやタイの受注が減少したことにより、減収となりました。
この結果、売上高は421億円（前年同期比18.2%減）、営業損失は18億2千万円（前年同期は営業損失17億円）となりました。

繊維事業
- 綿、合繊、その他素材の繊維製品（糸、織物、編物および二次製品）の製造・販売
- 綿、合繊織編物の染色整理加工

化成品事業

自動車分野は、新型コロナウイルスの感染拡大などに伴う自動車メーカーの減産の影響があり、国内およびブラジルの子会社の受注が大幅に減少し、減収となりました。なお、新型コロナウイルスの影響からの回復が早かった中国では、子会社の受注が堅調でした。
機能樹脂分野は、半導体製造装置向け樹脂加工品の販売が堅調に推移し、また新型コロナウイルスの感染拡大への対応として新たに開発した医療用ガウンの受注もありましたが、各種イベントの自粛により販売促進用のクリアファイル用フィルムなどが低調で、減収となりました。
住宅建材分野は、引き続く新設住宅着工戸数低迷の影響から、減収となりました。
この結果、売上高は485億円（前年同期比13.0%減）となりましたが、コスト低減により営業利益は14億円（同44.8%増）となりました。

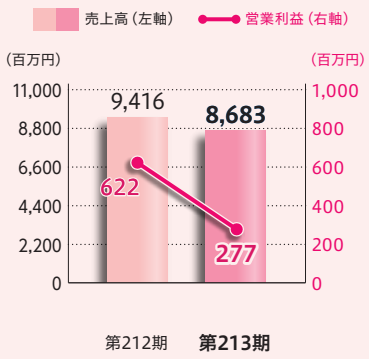
化成品事業
- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品、高性能エンプラ製品、不織布および補強ネットの製造・加工・販売



環境メカトロニクス事業

エレクトロニクス分野は、液体成分濃度計や膜厚計は堅調に推移しましたが、子会社における半導体洗浄関連装置の大型案件の減少や新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた国内外の全般的な営業活動の停滞により、減収となりました。
エンジニアリング分野は、バイオマス関連設備が順調に推移し、増収となりました。
バイオメディカル分野は、遺伝子受託解析サービスが順調に推移し、新型コロナウイルス抗体検査試薬キットの販売も加わり、増収となりました。
工作機械分野は、国内外ともに新型コロナウイルスの感染拡大に伴い設備投資が低調で、販売が減少し、減収となりました。
この結果、売上高は186億円（前年同期比14.4%減）、営業利益は15億6千万円（同43.9%減）となりました。

環境メカトロニクス事業
- エレクトロニクス関連製品の製造・販売・保守
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売



食品・サービス事業

食品分野は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅勤務の継続や外出の減少による内食需要の高まりから、成型スープやシリアル向けフリーズドライフルーツの販売が増加し、増収となりました。
ホテル分野は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、2020年5月にホテル全館の臨時休業を行ったことや、宴会および宿泊などが低調に推移したことなどから、減収となりました。
この結果、売上高は86億円（前年同期比7.8%減）、営業利益は2億7千万円（同55.5%減）となりました。

食品・サービス事業
- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか

不動産事業

不動産事業は、一部の賃貸物件の契約期間満了により、売上高は40億円（前年同期比5.9%減）、営業利益は28億4千万円（同5.2%減）となりました。

不動産事業
- 不動産の賃貸

コーポレートサイトのご案内

〉〉〉 https://www.kurabo.co.jp

コーポレートサイトでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しています。
当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。

繊維事業部 伊藤忠商事(株)と戦略的パートナーシップを構築

繊維事業部は、伊藤忠商事(株)繊維カンパニー(以下、伊藤忠商事)と戦略的パートナーシップに関する契約を昨年9月に締結しました。
2030年までに達成を目指す国連のSDGs(持続可能な開発目標)やESG経営など、サステナブルな社会の実現に向けて世界的に様々な取組みが行われており、繊維業界においても、繊維製品は身近な商品として関心が高く、その取組みが重要となっています。そのようななか、伊藤忠商事が有する環境配慮型原料と当社が有する原料改質技術“NaTech(ネイテック)”やアップサイクル技術“L∞PLUS(ループラス)”などの独自技術を生かして、新しい商品やビジネスモデルを共同で創出し、サステナブルな取組みを推進することとしました。
また、両社の連携強化のため、繊維事業部の重要拠点である海外関係会社のタイ・クラボウ(株)に対し伊藤忠商事からの出資を受けました。サステナブルな取組みの推進とともに、グローバルな生産・販売体制の強化によって業容の拡大を目指します。

化成品事業部 自動車用ウレタンモールド製品の生産ラインを拡充

化成品事業部では、主力事業である自動車用シートクッション材などのウレタンモールド事業における生産対応力の強化を行っております。その一環として、国内関係会社の東名化成(株)の日進工場(愛知県日進市)の生産ラインを刷新して昨年12月より操業を開始しました。
今回の生産ライン刷新により、日進工場の生産性が向上しただけでなく、2013年に操業を開始した同社の埼玉工場(埼玉県行田市)と金型を共有できるようになったため、両工場で同じ製品の生産ができる連携体制も整いました。

東名化成(株)日進工場

これにより、ウレタンモールド製品の受注の量や種類の変動にもフレキシブルな対応が可能になるなど、より効率的な生産体制を整えるとともに、BCP対策も行うことができました。
生産体制の整備により、ウレタンモールド事業のさらなる拡大を図ってまいります。

ウレタンモールド製品

環境メカトロニクス事業部

［エレクトロニクス分野］

3Dビジョンセンサー“Kurasense-C100”が「十大新製品賞 日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞

環境メカトロニクス事業部が販売している“KURASENSE（クラセンス）”シリーズのロボット用高速3Dビジョンセンサー“Kurasense-C100”が、日刊工業新聞社主催の第63回（2020年）十大新製品賞において「日本力（にっぽんぶらんど）賞」を本年1月に受賞しました。十大新製品賞は、その年に開発あるいは実用化された新製品のなかから、モノづくりの発展や日本の国際競争力の強化に役立つ製品を日刊工業新聞社が選定し、表彰する制度です。

受賞シーン（左はクラボウ 藤田社長
右は日刊工業新聞社 竹内大阪支社長）

今回受賞した“Kurasense-C100”は、ロボットの「目」と「脳」の役割を果たす高速3Dビジョンセンサーで、電線やケーブルなど線状の対象物（線状物）の認識に特化した製品です。従来のセンサーは硬く形状が決まった定形物しか認識できませんでしたが、“Kurasense-C100”は、形状が一定でなく曲がったりねじれたりするケーブル類を高速で認識してロボットにハンドリングさせることが可能です。本製品を組み込んだロボットシステムが、精密機器の組立工程などにおけるケーブル配線作業の自動化を推進し、モノづくりの高度化に貢献してまいります。

Kurasense-C100

関係会社 （株）セイキ

ファクトリーオートメーション設備の専門メーカー（株）セイキがクラボウグループに加わりました。

クラボウは、電子部品、自動車部品、精密機械などのメーカー向けファクトリーオートメーション（FA）設備の専門メーカーである（株）セイキの全株式を本年2月に取得しました。環境メカトロニクス事業では、近年、高速3Dビジョンセンサーを活用した産業用ロボットシステムやカラー画像処理技術による検査・計測システムなどの販売拡大に注力しています。一方、（株）セイキは、完全オーダーメイドのFA設備の開発力と自社で設計、加工、組立、調整、据付・保守までを行う一貫体制によるスピーディーな対応力などの強みを有しています。

今回、（株）セイキがクラボウグループに加わったことで、当社が有する検査・計測技術と（株）セイキのシステム設計・製造力の融合によりロボットビジョンシステムや各種検査装置などの新分野の開拓、新製品の開発・販売などのシナジー効果を発揮し、環境メカトロニクス事業における事業基盤の一層の強化と業容の拡大を図ってまいります。

本社工場

工場内

（株）セイキの概要

●所在地：富山県魚津市
●代表者：代表取締役社長　森重 潔（クラボウの執行役員を兼務）
●設　立：1976年7月
●資本金：1,160万円

詳しくはホームページをご覧ください。▶▶▶▶▶▶▶
https://www.kurabo.co.jp/sustainability

抗菌・抗ウイルス「Etakマスク」約80,000枚※を寄贈

化成品事業部および化成品事業セグメントの国内関係会社の倉敷繊維加工（株）、東名化成（株）、クラボウケミカルワークス（株）、シーダム（株）の4社は、新型コロナウイルス感染症対策支援として、「Etakマスク」約80,000枚※を当社グループの事業所のある自治体や病院、学校などへ寄贈しました。

寄贈シーン（左：岡山県浅口市、右：熊本県菊池市）

寄贈した「Etakマスク」は、倉敷繊維加工（株）が製造している不織布のマスクで、抗菌・抗ウイルス効果を持つ層と、ウイルスなどの飛沫の侵入を約99%カットする層、息苦しさを軽減するための保型性を持つ層を使用した三層構造の純日本製マスクです。

当社グループは、今後も自社製品を通じて皆様の安心・安全に貢献できるよう取り組んでまいります。

※ 2021年4月末現在の枚数です。

ダイバーシティ&インクルージョン推進の取組み

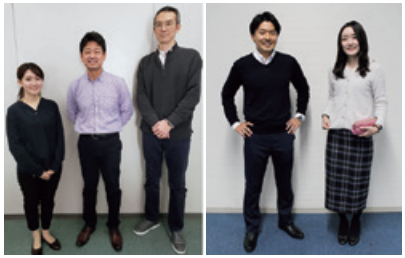
●「PRIDE指標2020」において「ブロンズ」を受賞

企業内でのLGBTQ※などのセクシュアル・マイノリティ（以下LGBTQ）に関する取組みの評価指標「PRIDE指標2020」において、当社は「ブロンズ」を受賞しました。「PRIDE指標」は、任意団体work with Prideが、LGBTQの方々が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目指し策定した評価指標です。今後もさらなる取組みを進め、PRIDE指標の最高評価である「ゴールド」の受賞を目指します。

※ LGBTQとは：レズビアン（Lesbian）、ゲイ（Gay）、バイセクシュアル（Bisexual）、トランスジェンダー（Transgender）、クィア／クエスチョニング（Queer/Questioning）の頭文字

●オフィスカジュアル導入

ダイバーシティ&インクルージョン推進の一環として、大阪本社・東京支社でオフィスカジュアルを導入しました。ビジネスシーンにふさわしい服装を自らが選択することで、自律的で自由な発想が生まれやすい職場づくりやコミュニケーションの活性化を図ってまいります。



クラボウのダイバーシティ&インクルージョンページ
https://www.kurabo.co.jp/sustainability/society/diversity.html

財務情報

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度（2020年3月31日）	当連結会計年度（2021年3月31日）
資産の部		
流動資産	77,483	78,087
固定資産	88,058	92,346
有形固定資産	52,320	51,565
無形固定資産	1,233	1,364
投資その他の資産	34,503	39,416
資産合計	165,542	170,433

科目	前連結会計年度（2020年3月31日）	当連結会計年度（2021年3月31日）
負債の部		
流動負債	48,066	47,292
固定負債	27,092	28,136
負債合計	75,158	75,428
純資産の部		
株主資本	90,689	91,620
その他の包括利益累計額	△1,711	1,784
非支配株主持分	1,405	1,599
純資産合計	90,383	95,004
負債純資産合計	165,542	170,433

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）	当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
売上高	142,926	122,184
売上原価	117,339	99,805
売上総利益	25,587	22,379
販売費及び一般管理費	21,045	19,172
営業利益	4,541	3,206
営業外収益	1,840	1,888
営業外費用	897	852
経常利益	5,485	4,242
特別利益	911	1,967
特別損失	1,011	2,433
税金等調整前当期純利益	5,385	3,776
法人税等	1,845	1,633
当期純利益	3,540	2,143
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△191	△65
親会社株主に帰属する当期純利益	3,731	2,209

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）	当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,064	8,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,855	△3,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,678	△1,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△146
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△440	3,338
現金及び現金同等物の期首残高	19,169	18,720
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△8	―
現金及び現金同等物の期末残高	18,720	22,059

株式情報・会社情報

当社の株式に関する事項 (2021年3月31日現在)

■発行可能株式総数　97,701千株
■発行済株式の総数　22,356千株
■株主数　15,304名
■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,107	5.35
株式会社みずほ銀行	1,018	4.92
日本生命保険相互会社	920	4.44
株式会社三井住友銀行	782	3.78
株式会社中国銀行	726	3.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	668	3.22
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	495	2.39
三井住友信託銀行株式会社	412	1.99
三井住友海上火災保険株式会社	320	1.54
三菱UFJ信託銀行株式会社	305	1.47

(注) ①当社は、自己株式を1,667千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社グループの概要 (2021年3月31日現在)

当社

■創　立　1888年3月9日　■本　店　岡山県倉敷市本町7番1号
■主要な事業所

区分	名称		所在地
営業所および研究所	大阪本社		大阪市中央区
	東京支社		東京都中央区
	技術研究所		大阪府寝屋川市
工場	繊維	安城工場	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成品	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
		三重工場	三重県津市
		熊本事業所	熊本県菊池市

(注) 丸亀工場は、2020年5月末をもって閉鎖しました。

当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人)　4,313(△154)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー1,005人がおります。

当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
	クラボウケミカルワークス(株)
	(株)倉敷アイビースクエア
海外	クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マヌンガル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
	広州倉福塑料有限公司

(注) ①上記記載の重要な子会社13社を含め、当連結会計年度の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。
②当社の子会社であるクラボウ関西化成(株)と中国化成工業(株)とは、2020年4月1日をもって合併し、クラボウケミカルワークス(株)に社名変更しました。また、当期から同社を重要な子会社として記載することとしました。

当社の取締役 (2021年6月29日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田晴哉	取締役 執行役員	藤井裕詞
代表取締役 取締役・常務執行役員	北畠篤	取締役 常勤監査等委員	岡田治
代表取締役 取締役・常務執行役員	馬場紀生	社外取締役 監査等委員	茂木鉄平
取締役 常務執行役員	川野憲志	社外取締役 監査等委員	新川大祐
取締役 執行役員	本田勝英	社外取締役 監査等委員	西村元秀
取締役 執行役員	稲岡進	社外取締役 監査等委員	谷澤実佐子

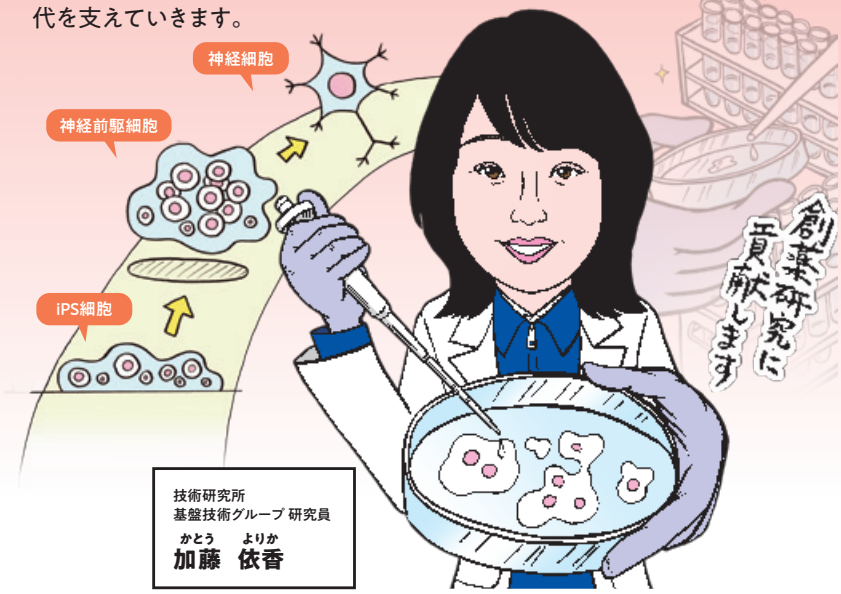
(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐、西村元秀および谷澤実佐子の4氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

当社の執行役員 (2021年6月29日現在)

常務執行役員	八木克眞	執行役員	西垣伸二
常務執行役員	西澤厚彦	執行役員	森重潔
常務執行役員	相徳朗人	執行役員	黒澤昭夫
常務執行役員	中川眞豪	執行役員	丸毛浩嗣
執行役員	平田政弘	執行役員	寺西秀夫
執行役員	松井一雄		

iPS細胞で健康長寿を支えるクラボウ

難病の治療や再生医療の分野でiPS細胞に注目が集まっています。しかし、実用化のためには、iPS細胞を身体組織の細胞に安定して分化させる高度な技術が必要です。クラボウはバイオメディカル事業で培った技術を活かし、iPS細胞を神経細胞に分化させる培養技術を研究しています。アルツハイマー病やパーキンソン病など、脳や神経に関わる疾患の創薬研究を支援し、人生100年時代を支えていきます。



技術研究所
基盤技術グループ 研究員
加藤（かとう） 依香（よりか）

なぜ、iPS細胞を育てるのは難しい?
自由奔放な万能細胞と格闘する若き研究者の細胞愛に迫る!

面白いことやってやろう。
SEASON Ⅲ Episode 4 詳しいお話はWEBで!

倉敷紡績株式会社
https://www.kurabo.co.jp

株主メモ

●事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日まで

●定時株主総会　毎年6月

●基準日
(1)定時株主総会・期末配当金　毎年3月31日
(2)中間配当金　毎年9月30日

●公告の方法
電子公告の方法により行います。
公告掲載URL　https://www.kurabo.co.jp
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

●単元株式数　100株

●株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

●同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)

【ご注意】

●株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。

●特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。